

就任の挨拶

平成30年度会瀬学区内関係者異動、役員など変更がありましたのでご紹介いたします。

【敬称略】



日立市立会瀬小学校
校長 藤田 剛

この度の人事異動により、日立市立滑川中学校から赴任して参りました。

変化の著しい現代において、子どもの健全育成を図るためには、地域・家庭・学校が密に連携して取り組むことが重要です。三者が同じ方向性で協力してこそ、これからの時代を生き抜く子どもたちを健全に育てられると考えます。

会瀬学区は、地域・家庭・学校が実に上手く連携できており、地域全体で温かく子どもたちを見守っている素晴らしい学区だと改めて感じました。
「会瀬っ子」の健全な育成のために、今後ともご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



日立市立会瀬小学校
PTA会長 菅原 一禎

この度、PTA会長を務めさせて頂く事になりました。日頃より地域の皆さまには、多岐にわたりご支援を賜り、感謝申し上げます。子どもたちの豊かな心を育む上で、地域の方々との交流、結びつきは重要であると感じております。

その様な環境を作れるよう尽力していきたいと思っております。地域の皆さまには、これからも子どもたちを温かく見守って頂きたいと思っております。今後ともご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



子ども会育成連合会
会長 笠 岳志

この度、会瀬学区子ども会育成連合会会長を務めさせて頂きました。

日頃より地域の皆様には、子ども会活動にご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。子どもたちが楽しい思い出をたくさん作れるような行事を、数多く企画していけるよう微力ではありますが取り組んでまいります。地域の皆さまには、これからも子どもたちを温かく見守って頂けるとうれしく思います。今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。

会瀬小学校運営協議会制度

平成30年度スタートしました

昨年度会瀬小学校は県北地区では、最初に地域とともにある学校づくりのために学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）に取り組んできました。

平成30年度第1回学校運営協議会が5月7日に開催されました。

第1回目では、昨年の反省、課題を反映させた今年度の運営方針や活動計画について、運動会、合同防災訓練、砂遊び集会の実施時と内容、など協力についてそれぞれの立場で協議を行いました。

役員として、協議会会長 柴田和彦

副会長 豊田義幸・鈴木裕子

事務局 須田育慎・助川浩美（教頭）

地域コーディネーター 柴田百恵

（敬称略）

○地域の方へ

地域コーディネーターから、ボランティアの依頼がありましたらご協力お願いします。

子どもたちの成長の為に皆様の知識・経験がたいへん役立ちます。無理をせず、出来る範囲の事で結構です。子どもたちと楽しい時間を過ごしましょう。

防潮堤の工事一部完了

津波対策で進めている、会瀬漁港事務所周辺の工事が完了しました。

引き続き会瀬青少年の家グラウンドの前工事が進行中で6月末日に完了予定です。

尚、会瀬海浜多目的広場で未整備の場所についても改善が行われて、地域住民の運動増進広場に開放されます。

（7月末日完了予定）



ふるさと会瀬から

前会瀬コミュニティ推進会会長であった小室節雄氏より回顧録を提供していただきました。三回に要約して紹介します

「私の人生」

小室 節雄

昭和25年（1950年）3月、日立市立助川中学校の教員に採用された。その前に、3か月ほど教育実習生として助川中に勤務していたので別に新しいところに来たような違和感はなかった。それよりも425円を給するという辞令書には感激した。新形式には父の背広を借り、ノーネクタイに高下駄履き、腰にはてぬぐいをぶら下げ、髪はぼうぼうといういでたちだった。今だったら校長室で厳重注意、その場で服装を直させられるほどのものだったと思う。

当時の物価水準からいえば425円の給料はあまりにも低かったのではなからうか。背広が1万円、下宿代が600円前後、デンキブラン（ブランデーを主にした酒）ポケット瓶が120円、かけうどん15円の時代であったから、身の回りの用品にまで手が回らなかつた。手取り収入は300円弱、最初の感激は吹き飛んでしまった。でも、毎月、隠居していた祖母に給料の中から200円を届けていた。

青年教師としての夢は限らないものがあつた。たった7歳違いの中学2年生の担任として、私の教員生活はスタートした。「あんちゃん」先生の門出であった。担当教科は、数学、社会、体育、美術、技術等、なんでも持たされた。週担当時数は週34時間中、32時間に及んだ。クラスの生徒数も学校内で最も多く55名であり、文字どおり、すしずめ状態であつた。それでも文句ひとつ言わず頑張りぬいた。

当時、数学が専門の先生が少なく、免許を持たない先生が教えることが多かった。私は、社会と国語が免許教科であるが、数学を教えざるをえなかつた。幸いなことに、もともと、好きな教科であつたので、抵抗なく指導に打ち込むことができた。私の数学指導は、独特なものであつたと思う。特に、文字の計算は、徹底して興味中心の指導法であつたので生徒の共感を得た。文字を動物の絵に置き換えたり、感覚的に公式を読み取らせ、応用する方法を試みた。その結果、クラス全員が数学大好きという状態であつた。これが幸いしてか、以後10年間無免許で、数学を教えざるを得なくなつてしまった。そのため、卒業生の中には私を、数学の専門教師として今なお見ている者も多い。

附記

小室節雄先生は昭和4年10月生まれで誕生日が来ると89歳である。

助川中に16年の長きにわたつて勤務していたので会瀬地区内には多数の教え子がいる。先生は健在で、今でも教え子の会合にも出席しカラオケで楽しんでる。住所は変わっていない。

なお、昨年11月、永年にわたり教育の振興に尽力された方への叙勲で、瑞宝双光章を受章されました。受章おめでとうございます。